

# 令和4年度地域運動部活動推進事業

## 休日の部活動の段階的な地域移行に関する実践研究 成果報告書

自治体名	千葉県白子町教育委員会 担当課：教育課 電話番号：0475-33-2144
------	--

### 1. 事業の概要について

#### 1.1 基本情報（令和4年度4月末時点）

① 中学校数	1校	② 生徒数	205人	③ 部活動数	8
--------	----	-------	------	--------	---

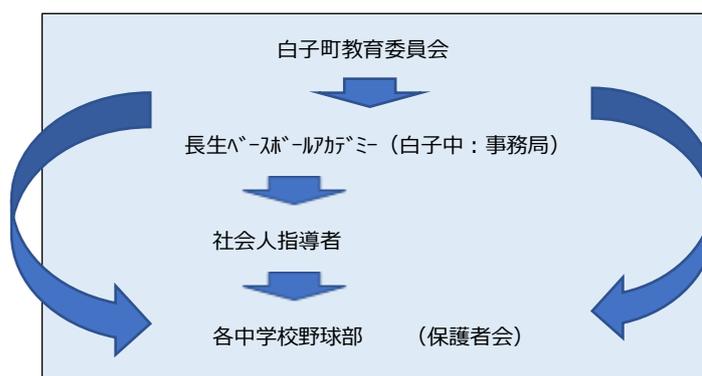
#### 1.2 地域における現状・課題

少子化により、部活動経営がままならないものがある。また、教員の働き方改革が叫ばれている状況に対応するため。

#### 1.3 実践研究における取組目標

- ・ 茂原市、白子町、長南町、長柄町の4市町村の野球部員を集め、練習の機会を年間30回程度確保してあげることにより、子どもたちの技術力・体力の向上をめざす。

#### 1.4 実践研究の運営体制



### 2. 地域連携や地域移行の推進に向けた体制整備の取組について

市町村教育委員会・学校が連携をとり、積極的に進めていかないと本事業の速やかな移行は、大変難しい。やはり、コーディネーターがいないとできない事業であると考え、そのやり方については千葉県北部と南部では、人口・環境・課題など大きく違いがみられ、地域的な特色があっても仕方ないように思われる。

### 3. 実践研究校における取組について

#### 3.1 実践研究校情報

① 実践研究校数	1
② 実践研究に取り組んだ部活動数	1部活
③ 種目	野球

《主な取組例（１）》白子町立白子中学校

① 運営主体	長生ベースボールアカデミー		
② 種目	野球	④ 参加者数	22人
④ 活動日	日曜日	⑤ 活動場所	白子中野球場
⑦ 指導者人数	5人	⑧ 謝金単価	1人あたり1000円/時間
⑨ 指導者属性	千葉県選抜コーチ・高校野球経験者		
⑩ 参加会費の有無・金額	徴収あり（1人あたり：5000円/年額）		

3.2 参加者の声（生徒、保護者、教師、指導者等）

- ・ 生徒・保護者共に賞賛の評価であった。全員が継続を願う意見だった。

3.3 各実践研究校での取組を通じて挙げた課題や解決方法、取組において特に工夫した点

学校施設を利用するので、指導者には施設の使い方を熟知しているものが望ましい。

費用不足のため、指導者が私費でバッティングマシンを購入した。（練習能率向上のため）

4. 実践研究の成果と今後の課題

4.1 実践研究での検証から得た成果

- ・ 指導者の情熱の結集により事業を展開できた。

4.2 地域移行における今後の課題と対応

<p><b>【関係者との連絡調整・連携体制の構築方策】</b></p> <p>コーディネーターを付けることにより、円滑な連携体制の構築を図る。</p>	<p><b>【受け皿団体の確保方策】</b></p> <p>町スポーツ協会に所属する各種団体とも協議を進めていく必要がある。</p>
<p><b>【指導者の確保方策】</b></p> <p>技術指導に卓越した指導者が必要となってくる場合には、地域のスポーツ団体と打ち合わせを行い、推薦を受ける形で確保していきたい。危険度の低い部活動では保護者の見守りでの活動も検討していきたい。</p>	<p><b>【困窮世帯への支援方策】</b></p> <p>準要保護制度など活用できるものは活用していきたい。</p>
<p><b>【地域移行の自走化に向けた方策】</b></p> <p>保護者から会費を集め謝金等を払っていくことが継続的に続けていける方法と考えるが、危険度の低い部活動については練習メニューを競技経験者に考えてもらい、活動は保護者が見守ることも検討していきたい。</p>	<p><b>【地域特有の課題への対応策】</b></p> <p>生徒が少ない中でも、リクエストが多様化している。保護者に理解してもらえるよう部活ごとに活動方針を決めていく必要がある。</p>